

税について、消費税のこと

この間の事でした。小樽にあるマクドナルドへ友達と行った時の事、いつも注文をするハッピーセットでしたがお店で食べる時と、持って帰って家で食べる時の値段が違う事に気づいたのでした。どうして同じものを買って食べているのに払うお金が違うのか不思議で親に聞いたところ、消費税が違うからと言われましたが私には難しく理解出来ませんでした。「どうして同じ店で同じものを購入しているのに食べる場所によって払うお金が違うのか」それが、消費税について、調べようと思ったきっかけでした。

まず税とはなにか親に聞いてみました。税とは国が公共サービスを行う為に国民からお金を貰うという事と聞きました。おまけに税の種類は五十種類以上あるとの事でした。

その中の一つに消費税があると知りました。

では、消費税とはなんだろうと調べたところ、一九八九年四月に初めて導入されたとの事でした。その時は消費税三パーセントとの事でそれまで百円で買っていたジュースがその日から百三円になったと父も言うておりました。調べてみると商品に税金をプラスし国がお金を集め、そのお金で年金や医療や少子化対策にお金を回しみんなの生活を豊かにすると載っていました。つまり今までの種類の税金ではお金が足りなくなり新たな手段として取り入れられた税金なんだと理解しました。さらに調べてみると、一九九七年五パーセントに引き上げ。二〇一四年八パーセントに引き上げ、二〇一九年十月、十パーセントに引き上げ。(ただし、飲食料品や新聞には八パーセントの軽減税率を適用)とネットに書いてました。先程の話でいくと百円のジュースが百三円から百五円、百八円、百十円となるのは分かりましたが、二〇一九年の軽減税率が分からなく調べてみると基本消費税額は十パーセントだけどみんながお金を払い過ぎても大変だから特定の場合では八パーセントにおまけするという事かなと理解しました。最初の話だと、本当はハッピーセットには消費税十パーセントだけどそれだと高くて大変だから、持って帰る

なら八パーセントにするという事なんだなとわかりました。

わからなかった事が今回の作文で初めてわかり、理解しました。つまり国がおまけするよとやってくれている事なんだと。ただ良かった半面、私には新たな問題もできてしまいました。お持ち帰りと言い、お店で食べた場合はどうなるのか、これからもっと国がお金が足りなくなったらどうなるのか。その事を調べてみましたが、残念な事に今日までに答えは辿り着きませんでした。今回の事で、消費税は中学生の私でも国のために払っているお金と初めて知りました。だからこそ私が払うお金がどういう理由で何の為に使われているのかこれをきっかけにもっと知りたいなと思いました。